





17年モデルのアップにもダウンにも対応するアイツァンフターは従来から搭載されていたが、本モデルからは出力特性が向上し、よりスムーズで確実なシフトチェンジが可能になった。STDモデルには搭載されていないスリッパシフトタンパー（国際規格は非対応）の効果が高く、エンジン回転域の上にもより確実なシフトチェンジが可能になっている。



運動性にあふれるそのスタイルは76年のクラッシュで「世界で最も美しいバイク」に選ばれ、多くのライダーから高く評価された。ツアヤペンションはツアヤ製のフルアジャスタブルを装備



### フロントフォークは オールアルミ製で軽量

フロントにはマルツォキ製の43mm倒立フォークを採用する。アウターのみならず、インナーチューブの裏面にもアルミが採用されて軽量化が図られた他、DLCコーティングをすることによってスムーズな操作性がもたらされている。



### エンジンは STD比24psアップの 140psを発揮

STDのフルタール800と800Rに対してはエンジンの仕様が大幅に異なり、インジェクターのツイントレノバ/パワーアップのためのもの変更がなされている。その結果、最高出力は140ps（STDは116ps）に向上し、もちろんヨーロッパとアジア、日本国内でもヨーロッパと同等のフルスロットルを味わえるようにもなっている。

SPECIFICATIONS

MV AGUSTA BRUTALE 800 RR

エンジン	水冷4バルブ7速直列2気筒
バルブ形式	DOHC/16V
総排気量	796cc
ボア×ストローク	79×54.5mm
圧縮比	12.3:1
最高出力	140ps/11,210rpm
最大トルク	17.0kg-m/10,100rpm
フレーム	スチールパイプ/アルミ
サスペンション	F=43mm倒立式43mm倒立2 R=ツアヤペンション/フルアジャスタブルスイングアーム
ブレーキ	F=φ320mmダブルディスク R=φ220mmシングルディスク
タイヤサイズ	F=120/70-17 R=180/55-17
全長・全幅	2045mm/875mm
軸間距離	1400mm
シート高	830mm
乾燥重量	175kg
燃料タンク容量	16.5L
色	パールブラック/レッド/メタリックカーボンブラック パールアイストーク/メタリックカーボンブラック
価格	191万7000円

RRにふさわしい走りを披露



MV AGUSTA  
BRUTALE 800 RR

そのうち、意味でも目的には違いない。限定の走りや走法を定めたエンジンモードや作動範囲が向上したアイツァンフター、A段階のトラクションコントロール、スリップリミッターといった各種制御デバイスがそれぞれサポート。乗るに当たっては、むしろ本体に馴染んでいく感覚を覚かせる。バイクは、その感覚を覚かせる。乗るに当たっては、むしろ本体に馴染んでいく感覚を覚かせる。

これは「高級」だったわけが、それだけではない。17年モデルからはそのハードルが取り払われ、本来のスペックがそのまま味わえるようになったのである。

「高級」だからといって、それだけではない。17年モデルからはそのハードルが取り払われ、本来のスペックがそのまま味わえるようになったのである。



従来のモデルは日本市場用のアフターが搭載されていたが、17年モデルからはヨーロッパデザインの3本出しのものが採用されるようにもなっている。

「高級」だからといって、それだけではない。17年モデルからはそのハードルが取り払われ、本来のスペックがそのまま味わえるようになったのである。

「高級」だからといって、それだけではない。17年モデルからはそのハードルが取り払われ、本来のスペックがそのまま味わえるようになったのである。

SPECIFICATIONS

MV AGUSTA F4 RC	マシンの全長———1400mm	シート高———830mm
エンジン———8バルブDOHC4気筒	———8バルブDOHC4気筒	乾燥重量———185kg(シート含まず) 実重量———175kg
バルブ形式———DOHC4バルブ	———モトメック+リッチスイングアーム	燃料タンク容量———17L
総排気量———999cc	フルード———F=φ320mmダブルディスク	色———レッド/ブラック/ホワイト
オフアクロート———79+50.9mm	———R=φ210mmシングルディスク	価格———48万1600円
圧縮比———13.4:1	タイヤサイズ———F=120/70-17	販売台数———250台
最高出力———209hp/13100rpm	———R=200/55-17	※スペックは2016年モデルの仕様
フレーム———スチールパイプフレーム	全長(全高)———2115mm/750mm	



美しいトヨタコールドスタートを繰り返したあつたに輝かせる「37」はMVアグスタが獲得してきた世界タイトルへの証

「37」はMVアグスタが獲得してきた世界タイトルへの証。美しいトヨタコールドスタートを繰り返したあつたに輝かせる「37」はMVアグスタが獲得してきた世界タイトルへの証。美しいトヨタコールドスタートを繰り返したあつたに輝かせる「37」はMVアグスタが獲得してきた世界タイトルへの証。



ディスプレイ内にはスポート/ノーマル/レイン/カスタムという4種のエンジンモードやトラクションコントロールの状態を表示

「37」はMVアグスタが獲得してきた世界タイトルへの証。美しいトヨタコールドスタートを繰り返したあつたに輝かせる「37」はMVアグスタが獲得してきた世界タイトルへの証。

R/C IMPRESSION

PHOTO:KOHYAMA, T.HASEGAWA  
TEXT:TJAM  
写真協力/アライヴ映像制作  
http://tjam.jp/



MV AGUSTA  
F4 RC

WSBの匂いを放つ圧倒的存在感

市販車レースの最高峰、ワールドスーパーバイク選手権の舞台で戦うMVアグスタのワークスマシンがチーム「レバルト・コルセ」のF4RCを再現したリアルレプリカが限定モデルとして登場。普通ではない、本物のオーラがそこにはあった。

MVアグスタのライオンリングの中で、フラッグシップに位置するモデルがドゥーラーズだ。その中でも最も切り替え可能なマシンが存在する。それがここで紹介するF4RCだ。

R/Cとは、「Reaper」(コーネ)「レバルト・コルセ」の意。現在ワールドスーパーバイク選手権の舞台で戦っているレーサーは、このマシンを駆使している。その名を冠して、このマシンは「レバルト・コルセ」のイメージを再現している。レバルト・コルセは、このマシンを駆使している。その名を冠して、このマシンは「レバルト・コルセ」のイメージを再現している。

1. 車体の傾け出しステップはそのイメージとは異様にフィットペダに設置する。とはいえ、これが通常のステップを兼ね、車体との一体感を高めている。2.F4のアイアンフィアでも4車出しマフラーが標準だが、SCプロジェクト製の1車出しレーシングマフラーもキットパーツとして用意されている。3. マーケットでは必須アイテムになっているレバーガードも標準装備する。

